

エコイベントの すゝめ

あなたが参画しているイベントやお祭りって
エコですか？

できることから始めて、地域にやさしいエコ
イベントを目指しましょう！



ごみ

ごみの発生をできるだけ抑え、リサイクルを進める



1. イベントチラシは最小限に

たくさんの人に配りたい！

でもチラシはやがてごみになります。

SNSやホームページ、ラジオ放送なども活用し、余ったチラシは古紙リサイクルへ。

2. あるもので代用（リースやレンタルも）

設備や機材等は既存のものやリース・レンタルを利用すれば、環境面も予算面もwin-win！

3. 分別回収はエコイベの基本！

分別を徹底すると余分なごみが減り、処理費用を抑えることもできます。

会場に分別ステーションを設置し、参加者に分別を呼びかけます。

4. リユース食器でエコイベの先駆者に！

使い捨て食器≠ごみ、リユース食器≠ごみ

マイ食器・マイ箸・マイボトル持参の呼びかけも。

【リユース食器ネットワーク】



分別ステーションキット貸し出しています！

キットがあれば、手軽に分別ステーションを設置できます。

貸し出しは無料です。申し込み・問い合わせ：環境課（TEL32-1969）



キット内容

テント（1基）、PRのぼり旗2枚
ごみ箱（5個）、水切りバケツ（2個）
水切りザル（2個）

分別ステーションを設置してみよう！

イベント会場内に分別ステーションを設置し、参加者に分別への協力を呼びかけます。

運営を学生や子どもたちのボランティアが中心となっていけば、環境教育にもなり、効果的です。

缶・びん ペットボトル	<ul style="list-style-type: none">●フタをはずし、洗浄用のバケツを用意して軽くすすぐ。●飲み残しは、飲み残し用のバケツを用意する。●プルタブやペットボトルのキャップは収集ボランティア（弘前市社会福祉協議会）へ寄付もできます。	市の処理施設へ 無料
紙類	<ul style="list-style-type: none">●ダンボールはできるだけ粘着テープをとり、開いて紙ひもでまとめる。●チラシやパンフレット等のリサイクルできる紙は紙ひもでしばるか、紙袋に入れてまとめる。 ※油などで汚れた紙はリサイクルできません。	古紙類回収ステーションなどへ 無料
燃やせるごみ	<ul style="list-style-type: none">●プラスチック製の容器（パック、コップなど）、汚れたものやリサイクルできないもの（油などで汚れた紙やガムテープ、竹串など）●食べ残しなど生ごみは水切りバケツを用意し、十分に水を切る	市の処理施設へ 有料
わりばし	<ul style="list-style-type: none">●洗浄用バケツで軽く洗って、新聞の上などに並べて乾かす●木製のわりばしはリサイクル可能です。環境課に事前にご相談ください。 ※汚れのついたもの、木製以外はリサイクルできません	環境課へ 無料

※標準的な分別の一例です。開催するイベントに合わせて分別区分を設定しましょう。

イベントから出たごみは、事業系ごみです（※町会等のごみ集積所には出せません）。自ら処理施設等に持ち込むか、一般廃棄物収集運搬許可業者にお問い合わせすることもできます（有料※）。

※無許可業者へお問い合わせすることは違法です。

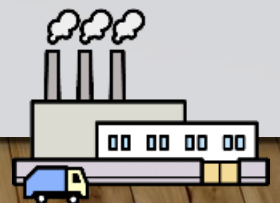
【古紙類回収ステーション】



【古紙リサイクルセンター】



【市の処理施設等、一般廃棄物収集運搬許可業者】



省エネ

消費をできるだけ抑え、省エネ・省資源を進める

1. 電気・水・ガスの節約

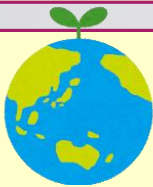
つけっぱなし、出しっぱなしはクールじゃない！
日光を上手く利用すれば、照明も暖房も節約。
LEDライトは省エネ仕様の基本です。

2. 屋内会場の室温は適正に！

冷房28℃でもクール♪暖房20℃はSO COOL！

3. 来場もエコで

公共交通利用の呼びかけは基本中の基本です。
シャトルバスで遠い会場でもエコになります。
マイカーでもエコドライブと相乗りの呼びかけを。



環境啓発

参加者を巻き込んで、エコの成功体験を積んでもらう

1. エコに配慮したイベントであることを知らせる

マイボトルの持参や公共交通の利用など具体的に
お願いすれば、「気づき」のきっかけになります。

2. エコ育ができるイベントは流行ること間違いなし！

人が集まるイベントはエコ化の取組を知ってもらう
絶好のチャンス。ブースやパネル展示でプッシュ！

3. イベント後の清掃は参加者も一緒に！

会場の清掃を一緒にやれば、一体感と達成感をダブル
ゲット！！

